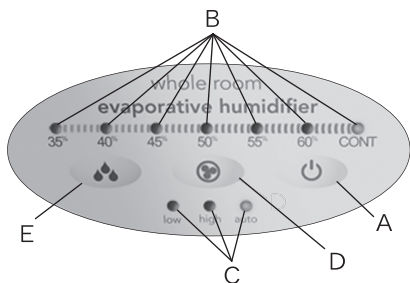


## ▶ 操作方法

1. 本体から出てくる風がさえぎられない場所に加湿器を設置してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
2. 電源ボタン (A) を押してください。電源を入れると、湿度は「連続加湿CONT」、風量は「強high」に設定されています (初期設定)。
3. 風量ボタン (D) と湿度ボタン (E) を押すごとに、風量と湿度が変わります。お好みの設定に合わせてください。
  - ・弱low：狭い空間や就寝中の運転。再給水なく、長時間の加湿が可能です。
  - ・強high：広い空間や急速に加湿したい場合
  - ・自動auto：より正確な加湿調整ができます。設定湿度を一定に保つために風量は弱lowと強highの間を自動で変動し、必要のない場合には運転を停止します。そのため、運転音を最小限に抑えることができます。
4. 設定湿度に達すると運転は停止し、風量ランプ (C) は消えますが、湿度ランプ (E) は点灯したままです。設定湿度が部屋の湿度より低いと、ファンは回転しません。湿度を上げたい場合は、ファンが回転し始めるまで湿度ボタン (E) を押し、設定湿度を上げてください。
5. 電源ボタン (A) を押すと、運転が停止します。  
(電源ボタンの操作で運転を停止すると、電源を切る前の設定が保存されますが、電源プラグをコンセントから抜くと、初期設定に戻ります。)



- A. 電源ボタン  
 B. 湿度ランプ  
 C. 風量ランプ  
 (弱low、強high、自動auto)  
 D. 風量ボタン  
 E. 湿度ボタン

### メモ

- この加湿器は気化式で、超音波式や蒸気式ではないため、気化する水蒸気は目に見えません。
- 室温と湿度の関係  
この加湿器は空気そのものを直接加湿する気化式を採用しています。気化される水蒸気量は室温に左右されます。

温度	空気中に含むことのできる水蒸気量	タンクの水の量	湿度
高い	多い	減りが早い	上がりやすい
低い	少ない	なかなか減らない	上がりにくい

- 設定湿度は目安ですので、実際の湿度が設定温度より低いと感じる場合には、湿度を高めを設定するか、連続加湿CONTに設定することをお勧めします。

## ▶ お手入れ方法

### ⚠ 注意

- 本体の内側、フィルターやタンクが汚れていると、加湿能力が低下するだけでなく、カビ、水アカが発生します。こまめにお手入れをして、清潔にお使いください。
- パワーヘッドに水をかけないでください。防水機能はありません。
- 研磨剤、ベンジン、シンナーやアルコールをお手入れに使用しないでください。

## 本体のお手入れ方法

### 日常のお手入れの方法

1. 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. パワーヘッド、タンク、フィルターを本体から外してください。
3. 本体の水受皿とタンクを空にし、水道水できれいにすすいでください。
4. パワーヘッドのホコリは掃除機で吸い取ってください。エアードスターもお使いになれます。

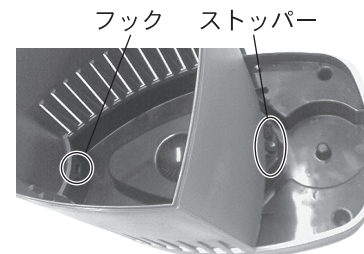
水アカなどが付着した場合は、次の方法できれいにしてください。

1. 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. パワーヘッド、タンク、フィルター、吸気口を外してください。

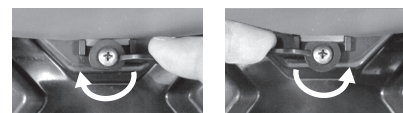
#### ●吸気口の外し方

- ・吸気口の右下にあるストッパーを矢印の方向に回し、ロックを解除してください (図B)。
- ・吸気口内部左側にあるフックを外し、全体を持ち上げます (図D)。

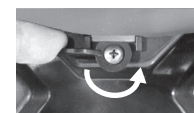
注意 吸気口を元に戻す時は、セットした後、必ずストッパーをもとの方向に回し、ロックをしてください (図C)。



図A



図B



図C



図D

### **ご注意（必ずお読みください）**

サーキュレーターはプロペラを外してお掃除が可能ですが、加湿器は配線などの構造上、分解してお掃除するようには設計されておりません。そのため、プロペラを外してしまうと不具合の原因になる事があります。

**お掃除の際には、絶対プロペラを外さないでください。**

またパワーヘッドを分解してお掃除をされた場合には、保証の対象外となりますのでご注意ください。気になる埃はホームセンターなどで販売されている市販のエアードスターを使用し吹き飛ばしてください。